

多くの歯科医師・歯科衛生士の方々が、今この時も全国各地で予防歯科に取り組んでいます。「LION Dent. File」では、時代の趨勢となっている予防歯科への潮流の中で、日々活躍されている歯科医師・歯科衛生士の方々のさまざまな取り組みについてご紹介します。

熊本を代表する名庭園「水前寺成趣園」がある水前寺地区に医院を構えて24年。待合室に掲げられた『良歯良根』の書の通り、木村歯科クリニックの木村浩幸院長は開業当初から、歯周組織を健全に保つことで歯を長くもたせる予防歯科に力を入れてきました。同時に「良い治療は健全な経営から」との考えから、一般の歯科医院では馴染みの薄い社是の制定やISO9001の認証取得にも取り組んできました。予防歯科と健全経営を見事に両立させてきた木村歯科クリニックの考え方について、木村院長とスタッフの方々にお話を伺いました。

## 『なるべく削らない、抜歯しない、義歯にしない』が医院の理念

開業して24年目になり、10年以上通われる患者さんや、紹介の患者さんが増えてきました。非常に嬉しいことだと思っています。様々な年代の方にお越しいただいています。最も多いのは50歳代です。また、80歳代が92人、90歳以上の方も7人いらっしゃいます。そういった状況ですので、医院の入り口もバリアフリーにしています。

開業当初から『なるべく削らない、抜歯しない、義歯に

しない』という理念のもと、予防を重視するスタイルでやってきました。歯は削らないほうが長持ちするというのは誰もが感じていることだと思いますが、特に神経が残っている有髄歯の方が残る確率は圧倒的に高いですね。神経が残っている歯は一生もつ可能性がありますが、神経を取ってしまうと、もって20年から30年というのが私の実感です。

## 全ての考え方のベースは「自分が患者だったら」

なるべく歯を削らないために、う蝕治療ではインレーではなく、一回で治療が終わる充填を選択するのが私の方針です。フルクラウンもなるべく避けます。う蝕が深くなった場合にも、歯髄を残すように3 Mixを使用し、歯髄まで進行してしまったものについては根管治療をできるだけ丁寧に行います。

歯周病の場合も、できるだけ歯を残す努力をします。一本の歯を残すということは、ブリッジになった場合を考えればすぐに分かるように両隣の歯を削らずに維持することになりますし、咬合負担の軽減にもなるからです。ですから重度の歯周病で歯肉縁下8ミリ以上のポケットでも、とりあえずは残すことを試みます。患者さんから「抜歯

# 良い治療と健全な経営を両立させる「歯を残す」の信念

熊本県熊本市 木村歯科クリニック

院長 木村 浩幸 先生





ト測定値でわかってもらうことが大事です。その上で、結局のところ予防にはブラークコントロールが不可欠ということをお患者に実感してもらおう。そうすると、自然とメインテナンスに進んでもらえることが多いですね。

ただし、その教育は上から目線ではうまくいきません。これは患者さんと接する回数が多い歯科衛生士によるコミュニケーションに負うところが非常に大きいです。患者さんの年齢層も、性格も、口腔状態も、生活習慣もさまざまですから、個々の患者さんに合わせたカウンセリングの技術が必要だと思います。

また、私自身も患者さんとのコミュニケーションで重視していることとして、治療内容の丁寧な説明を、診療台に移る前にカウンセリング室などで行っています。診療台で横になった状態で上から説明されても、まな板の上の鯉みたくて緊張しますから、やはり同じ目線の高さで説明した方がいい。そこを疎かにすると、後々いろいろなことがうまくいきません。

## 治療と経営は車の両輪 どちらが欠けても成立しない

予防歯科と医院経営の両立は、正直申し上げて保険診療

療だけでは厳しいものがあります。ですから、例えば欠損時の補綴物は自費のものをお勧めして、それを良い状態で保つていくというご提案をします。結果的に10年、20年と維持できるのであれば、それほ



木村浩幸(きむらひろゆき)先生 プロフィール  
1982年九州大学歯学部卒業。同歯科放射線学教室での2年間の勤務(助手)、伊東歯科医院(現伊東歯科口腔病院)での4年間の勤務の後、1988年に木村歯科クリニックを開業。1999年九州大学大学院歯学研究院入学(社会人枠)、2003年修了。歯周病専門医、噛み合わせ認定医、インプラント専門医、博士(歯学)。



『良歯良根』の書は、熊本の書家・井口峰月によるもの。

ど高いものではありませんから。

ただ、そうした提案をお患者に受けていただけるのは「木村歯科クリニックなら信頼できる」と思っていたからからです。開業以来、できるだけ歯を残すという信念を貫いてきたことが少しずつ浸透してきているのかな、と思います。しかし、ここが悩ましいところなのですが、ある程度経営が順調でなければ、丁寧な根管治療や歯周治療は現実問題として行えません。良い治療と安定した経営は車の両輪なのです。



開業以来作り続けている年報。記録を残すことを重視している。

経営の安定のためには、常に「木村歯科クリニックに来て良かった」と満足していただき、多くの患者さんに来てもらう必要があります。そのためには、自分たちの腕を磨くと共に人間性も高めて、サービスの質を高めなければなりません。

開業当初の私は、自分が良い仕事をしていれば自然とスタッフも付いてきて、サービスの質が上がるだろうと思っていました。しかし、それは独りよがりな考えです。スタッフにとって十分な給料や休みがなければ、付いてきてはくれません。そうした待遇をするためには、やはり経営が安定している必要があります。これらを実現するためには、院長一人が頑張ってもだめで、歯科医院全体が一つの組織として同じ方向を向いている必要があります。

## 社是制定とISO9001取得により 医院全体の意思統一を図る

歯科医院ではあまり馴染みのないものかもしれませんが、社是を制定したり、品質マネジメントシステムを体系化してISO9001を取得したのもその一環です。いずれも形式的に取り入れたものではなく、これまでの木村歯科クリニックが長年培ってきた経験、そして目指すべき姿を、スタッフの誰にとっても腑に落ちる形で文書化し



## ISO9001の認証取得で 歯科業務の標準化を図る

副院長 松田 卓也 先生



5年前にこの医院に来て以来、ISOの事務局長をしています。ISOでは、業務に関するさまざまな書類の作成、内部監査や外部監査が必須ですので、それらの取りまとめを行っています。ただ、ISO9001の取得自体は2004年12月で、私の前に勤務されていた先生が中心になってやられたことですので、その引継ぎと継続をしているだけの私がこうしてお答えするのは、おがましい限りではありますが…。

ISO認証取得の利点は、業務の標準化ができるという点にあります。あらゆる処置に関して、その準備内容や処置のプロセスが文書マニュアル化されていますので、誰が担当しても漏れなく行うことができます。普通は歯科医院ごとに院長先生ならではのやり方や勘所があつて、時間をかけて周囲のスタッフがそれを理解する、という面があると思います。そうした部分を文書にして「見える化」していることで、特に新人教育などは非常にやりやすくなります。私自身も、この医院に初めてきたときには、非常に分かりやすかったですね。

また、マニュアルは一度出来上がればそれで終わりではなく、基本的に年一回は見直しを行います。そこで現状に即していない部分が見つかれば修正して、改訂版を作成します。ISO認証には、そのように常に改善を重ねていくというプロセスも含まれています。



毎年内容を見直している診療アシストマニュアル(右)

たものです。当院の日頃の業務は診療室でも受付でも技工室でもこれを基準に回していますし、新人教育にも非常に効果的です。

私たちが目指しているのは、患者さんに一生自分の歯で食べてもらうことです。そのためには、生活習慣を見直すなどの目標を患者さん自身に持つてもらうことが必要です。歯科ができることには限りがありますが、冒頭に申し上げたように補綴で一生歯を持たせるといのはなかなか

か難しいものがありますから。「一生自分の歯で」を実現するためにも、うちの医院を信頼して、来院してもらえようなコミュニケーションを築くこと、そして、提供するサービスの質を常に改善していくということは今後も続けていきたいと思っています。

## メンテナンスの鍵は 患者さんの納得を得ること

歯科衛生士長 田辺 里美 さん



専門学校を卒業後、ずっと当院に勤務して今年で16年目になります。木村院長の「一生自分の歯で食べてもらうために」というお考えには、私も同感です。特に歯周治療などでは歯科衛生士が主体的に携わるため、危険な状態の歯を残すことができたときには本当に嬉しいですね。すぐに結果が出るものではありませんが、歯が残ることで患者さんにも喜んでいただけて、信頼も得られていると思います。

予防を大事にする医院なので、歯科衛生士の役割は大きいです。予防に関する知識や、ブラッシング方法、メンテナンスの重要性などの情報提供を、歯科衛生士の立場から行っています。メンテナンスについては、「今まで大変だったことを繰り返さないために」「良い状態を長く保てるように」という観点から、その有効性やPMTCの内容などを説明します。あとは患者さんによって「自分自身でここまでできる」「これはできない」といった要望があるので、摺り合わせながら内容を決めていきます。メンテナンスに進んでいただくためには、技術的な面よりも、いかに患者さんに必要性を理解していただき、納得していただくかということの方が大きいですね。

木村歯科クリニックの良いところは、あらゆることにこだわりをもっている点だと思います。治療はもちろんですが、治療内容の説明のための資料作りや、ISOでの文書化にも力を入れています。通常業務以外のことを継続するのは頑張らないといけないことですが、そういった姿勢は患者さんにも伝わっているのではないのでしょうか。



メンテナンスの流れを説明するための資料